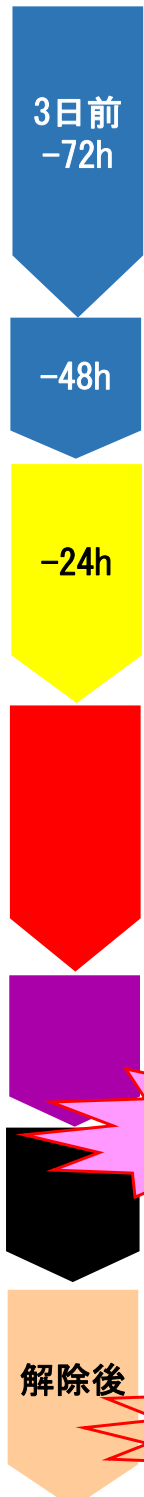


ため池タイムライン (会本新池・太田池)

ため池諸元	
会本新池	貯水量 10,000m3 堤高 6.4m 洪水吐形式 越流堰型 改修歴 昭和60年度
太田池	貯水量 12,000m3 堤高 4.5m 洪水吐形式 側水路型 改修歴 昭和57年度
関係者連絡先	
須衛区長	
会本農事改良組合長	
おがせ町第3自治会長	
須衛会本自治会長	
南北島自治会長	
宮之前自治会長	
木戸・宮の前自治会長	
各務原市農政課	058-383-1111
防災行政無線、各務原市「情報メール」	
○防災行政無線 風水害・土砂災害時等の避難指示など緊急の情報をお知らせします。 ○各務原市「情報メール」 防災情報を含めた暮らしに役立つ情報を携帯電話などに「メール配信」します。	
ため池の役割	
本ため池に貯留された水は、下流にて農業用水として利用されています。 また、ため池は降雨時に雨水を一時的にためる洪水調整や土砂流出の防止などの役割を持っています。	
地震発生時の対応	
○震度5弱以上の地震発生後 (堤高1.5m以上のため池は震度4以上) ・ため池管理アプリにて緊急点検を実施・報告 ○堤体の沈下、クラック、漏水等の異常を発見した場合 ・市町村へ異常を報告、下流住民の避難を実施 ・緊急放流、補修等を実施	

事象・気象情報	水位情報	各務原市			参考	
		農政課	防災対策課	ため池栓操作者		
事象 大雨の可能性がある 大雨の可能性が高くなる ため池損壊に及ぶ大雨の恐れがある 大雨が始まる、降雨の強さが増す ため池の重大な損壊に繋がる豪雨の恐れがある ため池上流等、土砂災害発生の危険度高まる ため池に係る重大な災害が起こる恐れが大きく非常に危険な状態にある(数十年に一度の豪雨が予想される) ため池損壊等異常発見	会本新池 1/10水位超過 洪水吐底+2.4cm 1/2水位超過 洪水吐底+1.2m 堤頂水位超過 洪水吐底+2.4m	農政課 ため池の貯水位確認 各種協力機関の体制確認 ため池の貯水位確認 土砂キキクル等気象情報を注意深く確認 水位予測の確認 水位予測の確認 下流河川への注意情報伝達 水位予測の確認 下流河川への警報情報伝達 大雨特別警報解除後、緊急点検を実施・報告 重大な異常の発見 緊急放流、補修による応急復旧対策 その後、緊急補修対策	防災対策課 情報共有 異常による緊急安全確保 情報共有 大雨警報発令の可能性が高く、かつ、洪水吐が避難判断水位(警戒レベル3相当)に達する見込みとなった場合、避難場所の開設準備 情報共有 大雨警報が発令され、かつ、洪水吐が避難判断水位(警戒レベル3相当)に達した場合、高齢者避難発令 情報共有 洪水吐が危険水位(警戒レベル4相当)に達した場合、避難指示発令 情報共有 ため池水位が堤頂(警戒レベル5相当)に達した場合、緊急安全確保発令 情報共有 異常による緊急安全確保	ため池栓操作者 ため池の貯水位等確認 重大な異常の発見 ため池の貯水位等確認 ※警戒レベルが高い時は待機<ため池に近づかない> ため池水位が堤頂(警戒レベル5相当)に達した場合、緊急安全確保発令	周知すべき住民の行動 ○浸水想定区域図及び避難経路等確認 ○緊急避難行動 ○インターネット等による大雨、河川の状況確認(土砂、洪水キキクル) ※必要に応じて避難準備 避難行動は日中での実施が原則! ○避難準備 ○高齢者等避難行動(LV3) ○避難行動(LV4) 土砂災害・洪水ハザードマップと同時にため池ハザードマップの情報にも留意 ○緊急安全確保 ○緊急避難行動	参考 気象情報 洪水キキクル(洪水警報危険度分布) 【警戒レベル2相当】 大雨注意報 キキクル危険度「注意」 【警戒レベル3相当】 大雨警報(土砂災害) キキクル危険度「警戒」 【警戒レベル4相当】 土砂災害警戒情報 キキクル危険度「危険」 【警戒レベル5相当】 大雨特別警報(土砂災害) キキクル危険度「災害切迫」 【警戒レベル2相当】 大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報 キキクル危険度「注意」 【警戒レベル3相当】 大雨警報(浸水害) 洪水警報 氾濫警戒情報 キキクル危険度「警戒」 【警戒レベル4相当】 氾濫危険情報 キキクル危険度「危険」 【警戒レベル5相当】 大雨特別警報(浸水害) 氾濫発生情報 キキクル危険度「災害切迫」

気象情報
時間軸



事前の備え・情報収集

気象庁
気象庁ホームページ

各務原市「情報メール」
登録はこちら →

または、t-kakamigahara@sg-p.jp
まで空メールを送信

キキクルはここを押す



洪水吐とは？

満水位以上の水が流入する時に、堤体を越えて水があふれないよう自然に水を放流する施設です。
○洪水吐の設計基準
・200年に1度の規模の降雨でも安全に放流可能
・流木等で閉塞しない大きさ

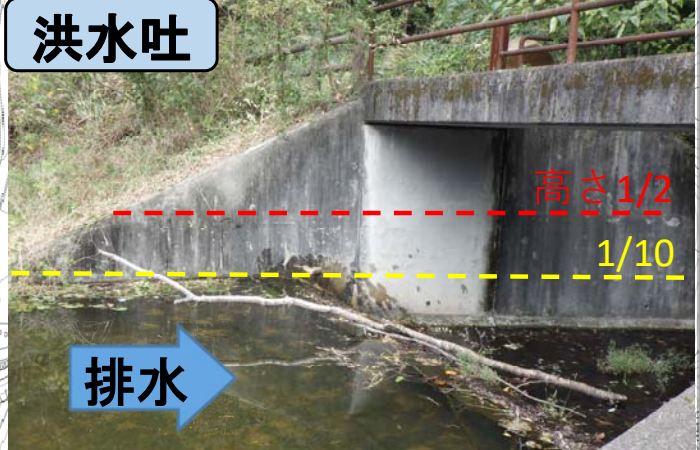
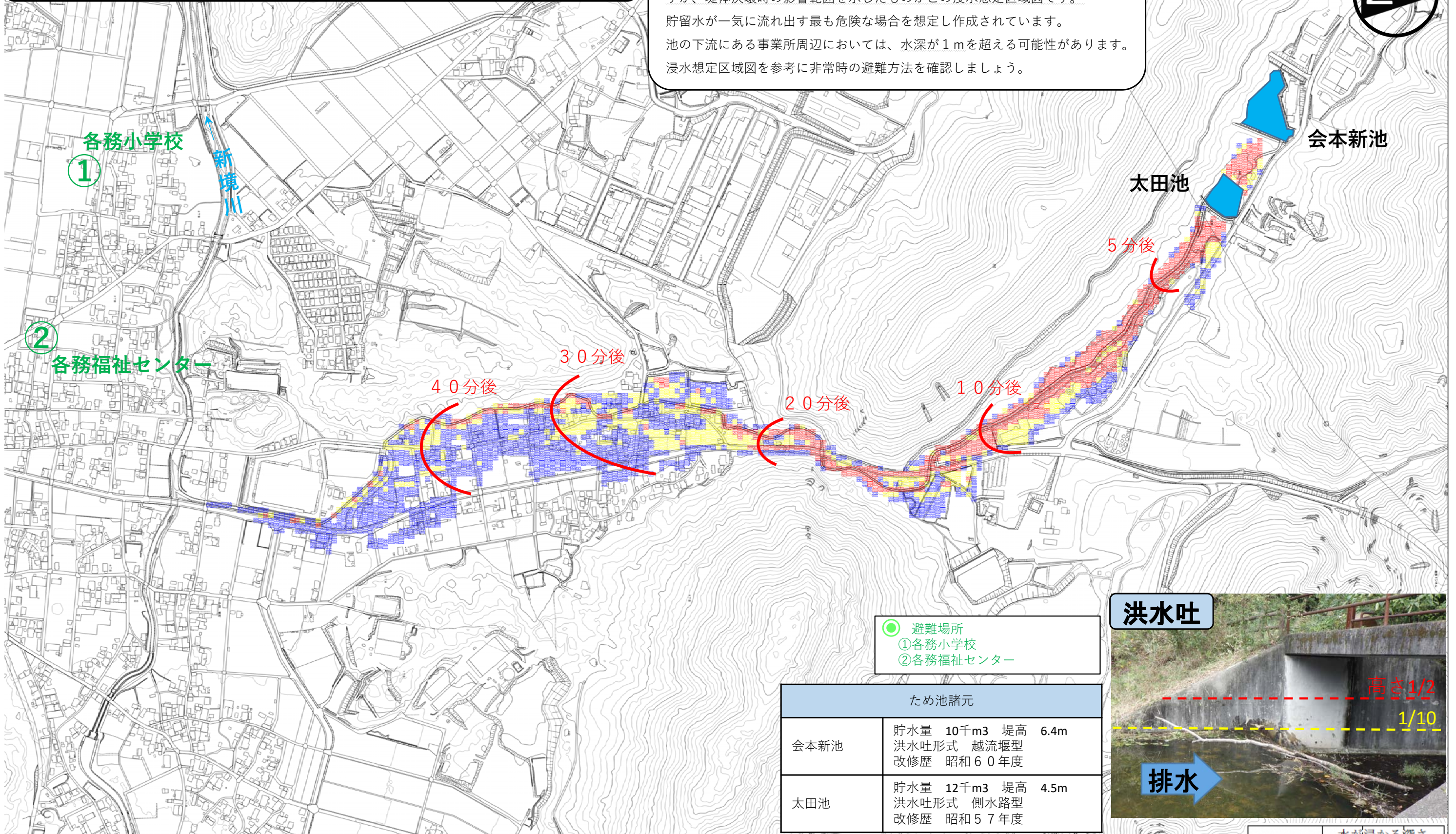
地震発生時の対応

○震度5弱以上の地震発生後
(堤高1.5m以上のため池は震度4以上)
・ため池管理アプリにて緊急点検を実施・報告

○堤体の沈下、クラック、漏水等の異常を発見した場合
・市町村へ異常を報告、下流住民の避難を実施
・緊急放流、補修等を実施

浸水想定区域図（会本新池・太田池）

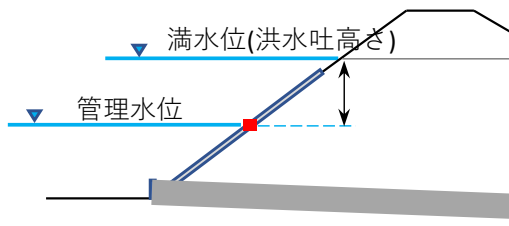
会本新池及び太田池は適切な管理がされており、決壊の可能性は非常に低いですが、堤体決壊時の影響範囲を示したものがこの浸水想定区域図です。貯留水が一気に流れ出す最も危険な場合を想定し作成されています。池の下流にある事業所周辺においては、水深が1mを超える可能性があります。浸水想定区域図を参考に非常時の避難方法を確認しましょう。



- 避難場所
- ① 各務小学校
- ② 各務福祉センター

ため池諸元	
会本新池	貯水量 10千m ³ 堤高 6.4m 洪水吐形式 越流堰型 改修歴 昭和60年度
太田池	貯水量 12千m ³ 堤高 4.5m 洪水吐形式 側水路型 改修歴 昭和57年度

ため池管理水位



農閑期には、低水位管理を行うことで地震による決壊被害を小さくできます。大雨や台風通過が予測される際には、事前に水位を下げておくことで越水や決壊のリスクを小さくできます。

ため池 管理状況	ため池上流域について
<ul style="list-style-type: none"> ・草刈り：草刈り時に堤体及び施設の点検（ため池管理アプリや点検チェックシートによる） ・管理水位：左記による ・管理手法について ため池管理マニュアル⇒ 	<p>上流域は、土砂災害特別警戒区域に指定されているため、注意が必要です。</p> <p>また、浸水想定区域の一部においても、土砂災害特別警戒区域と重なっているエリアがあるため注意が必要です。</p>



歩行困難度判定	水が浸かる深さ	
	浅い	深い
遅い 水が流れる速度 速い	0.5m/s	可能
	1.0m/s	危険